

令和7年度 前期 学校評価

鬼北町立日吉中学校

【評価基準】 A：評価点3.2（80%）以上 B：評価点2.8（70%）以上 C：評価点2.4（60%）以上 D：評価点2.4（60%）未満

重点目標	評価指標				評価点	評価	評価	○成果　●課題及び改善策
確かな学力	1	① I C T機器を効果的に活用し、分かる授業を実践している。	教師	「わかった」「できた」を一人一人が実感できる授業に努めている。	3.86	A	A	○校内、家庭共に一人一台端末の活用が進んでいる。生徒・教員共に活用スキルが向上している。 ●世間一般の傾向として、昨今漢字を書けない児童生徒が増えているらしい。書く活動を継続していきたいと考えている。 ●教師の評価点と保護者、生徒の評価点を比較すると、教師が期待しているほどの効果は得られていない心配がある。
			保護者	お子さんは、授業内容を理解している。	3.22	A		
			生徒	授業内容をよく理解している。	3.20	A		
	2	②基礎・基本を定着させ、学びに向かう力を育てている。	教師	家庭学習の指導や内容を工夫し、主体的な学びにつなげている。	3.43	A	B	○家庭学習充実Weekの様々な取組は、生徒の学習習慣の向上につながったと考える。 ●保護者の評価が低く、家庭での学習状況が十分に伝わっていない、あるいは家庭学習の実施が不十分と捉えられている可能性がある。生徒の取組にばらつきがあることも懸念される。 ●2学期の家庭学習充実Weekで、1学期から改善した取組を全校で実施していく。
			保護者	お子さんは、宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。	2.78	C		
			生徒	学び方を理解し、宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。	2.80	B		
	3	③じっくり考えて判断し、表現する力を育てている。	教師	教科学習や郷土学を充実し、思考力・判断力・表現力を育てている。	3.43	A	A	○教科学習や郷土学の取組を通じて、思考力・判断力・表現力の育成が進んでおり、生徒もじっくり考えて表現する力がついてきている。 ●じっくりと考えてはいるが、その考えを表現する際に、適切な言葉を使ってみんなに伝える内容にすることに課題を感じる。 ●日々の授業や学習の中で、書く活動をこれからも大事にしたい。
			保護者	郷土学等によりお子さんの考える力や表現力が育ってきている。	3.11	B		
			生徒	じっくり考え、伝えたいことを的確に書いたり話したりできる。	3.10	B		
評価委員意見 学校関係者	○「宿題以外の家庭学習」のとらえ方に、保護者、生徒に差異があるのではないか。 ○何でもいいので、一つ家庭学習に取り組めるものを見付け、継続することの大切さを身に付けてほしい。「学び」の喜びを知ることが大切。 ○少人数だからこそ、時間をかけてコミュニケーションを図り、他人と同じではなく、自分の言葉で語る、書く、そしてよく聞く力を育ててほしい。 ○パソコンを使い始めると漢字は書けなくなる。読めるけれど書けない。宿題で漢字のクロスワードパズルなどをやってみてはどうか。 ○教師は授業の工夫をしていると思っているが、保護者、生徒はそこまで思っていない（あまり理解できていない）のではないか。					学校の対応	○授業の最後に、ICTの使い方がどうだったか振り返る時間を設ける。 ○週1回の頻度で家庭学習時間調査の結果を保護者と共有して、家庭でどのような学習をしたか分かるようにして、参観日や懇談会で教室に掲示しておく。 ○2学期の家庭学習充実Weekは、1学期から改善した内容で取り組む。	

重点目標	評価指標				評価点	評価	評価	○成果　●課題及び改善策
豊かな心	4	④地域の文化や自然を学校教育に生かしている。	教師	地域のよさを生かした教育活動に努め、豊かな心を育てている。	3.86	A	A	○日吉は特に地域の方の協力体制が整っていて素晴らしいと感じる。地域で育てる精神を受け継いでいきたい。 ○地域の自然や文化、人との関わりを取り入れた教育活動が効果的に行われ、保護者・教師の双方が、生徒の豊かな心の成長を実感している。 ●生徒の評価がやや低く、活動への参加が自発的にできていない場面や、地域との関わりを十分に意識できていないのではないかな。
			保護者	地域のよさが学校教育に生かされ、豊かな心が育っている。	3.56	A		
			生徒	進んで、地域の文化や自然、人々との交流に取り組んでいる。	3.00	B		
	5	⑤将来への展望を持つよう学校生活の充実に努めている。	教師	キャリア学習を進め、充実した学校生活が送れるようにしている。	3.14	B	A	○キャリア学習が進み、生徒は学校生活を前向きに楽しんでいる。保護者からも肯定的な評価が得られており、学びが日常生活と結びついている。 ●教師の評価がやや低めであり、キャリア学習の意義や内容を教師側がしっかり理解しておく必要がある。 ●体験活動や交流の場を増やし、自分の将来像を明確に描けるよう支援する。
			保護者	お子さんは、将来に夢をもち、学校生活を楽しく送っている。	3.44	A		
			生徒	将来に夢をもち、学校生活を楽しく送っている。	3.30	A		
	6	⑥挨拶や時と場に合った言動が身に付くようにしている。	教師	挨拶や時と場に合った適切な言動ができるよう指導している。	3.57	A	A	○挨拶や適切な言葉遣いが定着し、保護者からも高い評価が得られている。学校内外で適切な言動を意識して行動できる生徒が増えてきている。 ●生徒自身の評価がやや低く、適切な挨拶や言動が不安定なことが伺える。自信をもって実践できていないところが課題である。日々の生活で良い言動を認め合い、自己肯定感につなげる機会を設ける。
			保護者	お子さんは、挨拶や時と場に合った適切な言動ができる。	3.33	A		
			生徒	気持ちのよい挨拶や時と場に合った適切な言葉遣いができる。	3.10	B		
評価委員意見 学校関係者	○⑤の評価が年々伸びているように感じる。学年が上がるにつれて、キャリア教育の積み重ねの成果が出てきているのだろう。 ○少人数の中で「一人一研究」等、よく継続されていて頭が下がります。頑張ってください。 ○キャリア学習により、今までにない自己発見をしたり、興味や関心を広げ、考えたりできるきっかけや体験になることを期待する。 ○日吉中学校伝統の「一人一研究」が、地域とのつながりを強くしていると思います。少人数で大変ですが頑張ってください。 ○職場体験学習に鬼北町役場や日吉支所、公民館や社会福祉協議会等を入れてみてはどうか。また、鬼北町議会の傍聴などを体験してみると、より鬼北町のことが理解できるのではないかな。					学校の対応	○地域活動の目的や意義を生徒自身が理解できるよう説明し、振り返りや発表の場を設ける。 ○職場体験学習や一人一研究など、地域での体験活動や交流の場を増やし、自分の将来像を明確に描けるよう支援する。 ○生徒が自信をもって大きな声で挨拶できるよう、日々の活動の中でもよい言動を認め合い、自己肯定感が高まるような支援をする。	

重点目標	評価指標				評価点	評価	評価	○成果　●課題及び改善策
健やかな体	7	⑦「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化を図っている。	教師	「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付くよう指導している。	3.57	A	B	○「早寝・早起き・朝ごはん」の評価は低いが、毎朝の健康観察や、家庭学習時間調査で確認することにより、以前よりも良い生活を送れるようになったと感じている。 ●生徒自身の評価が低く、生活習慣が十分に定着していない実感や、日によって乱れがあることが伺える。取組が「やらされている」意識になっている可能性もある。 ●早寝早起きは、根気強く家庭に呼び掛けていくしかないと思う。
			保護者	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	3.22	A		
			生徒	「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	2.70	C		
	8	⑧体力や運動技能の向上への取組を実践している。	教師	しっかり運動することができるよう指導や助言ができている。	3.86	A	A	○運動面の指導が効果的に行われ、体育や部活動を通して、体力や技能の向上がみられる。保護者・教師ともに高く評価しており、生徒も意欲的に取り組んでいる。 ●活動の振り返りや成果の共有を通して、自分の成長を実感できる場を設ける。小さな達成も認め合うことで、自己肯定感を高め、継続的な意欲につなげていく必要がある。
			保護者	部活動を通して、お子さんの体力や技能、個性が伸びてきている。	3.56	A		
			生徒	体育の授業や部活動に意欲的に取り組んでいる。	3.30	A		
	9	⑨自尊感情や自己肯定感を育てている。	教師	一人一人のよさを認め、個性を生かすようにしている。	3.86	A	A	○教師、保護者が生徒の良さや個性を認め、肯定的な関わりを大切にしていることで、生徒も自分の良さに気付いている。自己肯定感の育成が進んでいる。 ●自分に厳しい生徒もいるため、自己肯定感に関する質問については偏りが出やすい。 ●日常的に仲間と認め合う活動や振り返りを入れ、良さを見つけて伝え合う機会を設ける。
			保護者	お子さんのいいところを認めるようにしている。	3.33	A		
			生徒	自分にはよいところや強みがある。	3.20	A		
評価委員意見 学校関係者	○部活動について、土日のどちらかを休日に行っていることを聞いて、とてもいいと思う。先生方も休息がとれて、また子どもたちと向き合ってもらえるといい。 ○早寝・早起き・朝ごはんを身に付けるには、家庭での生活習慣の整備が大切になるので、啓発活動を継続してほしい。 ○思春期になり、何かと難しい年ごろであるが、少人数の良さを生かし、基本的な習慣が十分に身に付き、人として互いを認め合えるような学びの3年間であってほしい。自分を認め、自分を好きといえる人は他人も認められる人になると思う。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」は、継続的に家庭に働きかける必要がある。数値の変動にとらわれることなく取り組んでもらいたい。					学校の対応	○早寝・早起き・朝ごはんについては、継続して家庭へ啓発をする。 ○早寝・早起き・朝ごはんの効果を実感できる学習活動を取り入れ、主体的な生活習慣づくりを支援する。 ○日常的に仲間を認め合う活動や振り返りを取り入れ、良さを見つけて伝え合う機会を設ける。	

重点目標	評価指標				評価点	評価	評価	○成果　●課題及び改善策
学校・家庭・地域の連携	10	⑩学校は教育活動についての情報を発信している。	教師	分かりやすく親しみやすい通信やＨＰ作りに努めている。	3.71	A	A	○教師が工夫して作成した通信やホームページは保護者にしっかり届いており、学校の教育活動への理解と関心を高めている。 ●生徒の評価が低く、通信やホームページの情報に対して関心が薄い、または内容が自分事として受け止められていない可能性がある。配布物にはきちんと目を通して、保護者に渡すように引き続き指導していきたい。
			保護者	各種通信やホームページで教育活動に関する情報を読んでいる。	3.33	A		
			生徒	各種通信やホームページで教育活動に関する情報を読んでいる。	2.70	C		
	11	⑪行事等が適切に設定され、保護者が参加できている。	教師	行事の内容がよりよいものになるよう、工夫や提言をしている。	3.57	A	A	○教師の工夫や改善により、行事は生徒の意欲を引き出す内容となっており、保護者からも高い評価が得られている。 ●生徒の声を更に取り入れ、準備や運営への主体的な関わりを促すことで、行事への参加意識と満足感を高める。
			保護者	学校の行事は、お子さんが意欲的に取り組める内容である。	3.56	A		
			生徒	学校の行事に意欲的に取り組んでいる。	3.30	A		
	12	⑫安心・安全な教育環境づくりに努めている。	教師	家庭や地域と連携し、安心・安全な教育環境を保持している。	4.00	A	A	○学校・家庭・地域がしっかりと連携し、安心・安全な教育環境が整っている。保護者の信頼も厚く、生徒も落ち着いて学校生活が送れている。 ●生徒自身も安全への意識が高められるよう、防災教育や心の教育を更に充実させていく。
			保護者	安心してお子さんを送り出せる教育環境になっている。	3.56	A		
			生徒	家庭や地域、学校に支えられ、安心して学校生活を送っている。	3.80	A		
評価委員意見 学校関係者	○小中学校に共通して言えることだが、取組や行事の発信を見て感心している。愛情深く関わっていただいていることに感謝申し上げます。 ○不審者対策もされており、安心する。不審者対応の訓練を実施することで、生徒たちの防犯意識を高めてほしい。 ○小規模校でありながらも、十分に取組まれており、頭が下がる。これからも頑張ってもらいたい。 ○学校通信、ホームページは共に充実している。					学校の対応	○各種通信を配布するときに声を掛けたり、ホームページの内容を話したりして、興味を持たせるきっかけを作る。 ○意識して生徒の声を取り入れ、準備や運営への主体的な関わりを促すことで、行事への参加意識と満足感を高める。 ○生徒自身も安全への意識が高められるよう、防災教育や心の教育を更に充実させる。	